

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップの取組や特色ある学校行事の紹介、生徒の活躍（成果報告等）、入学を目指す皆さんへのお知らせなど、魅力的な取組に関する情報が満載です。

中学生の皆さんの進路選択に、ぜひ御活用ください。

7月号の目次

- 1 マナーアップの取組紹介
 - (1) 仙台第三高校
- 2 特色ある学校行事等の紹介
 - (1) 白石工業高校 (2) 大河原産業高校 (3) 角田高校 (4) 名取高校
 - (5) 泉高校 (6) 松島高校 (7) 古川高校 (8) 南郷高校
 - (9) 登米総合産業高校 (10) 築館高校
 - (11) 一迫商業高校・築館高校一迫商業キャンパス (12) 岩ヶ崎高校
 - (13) 迫桜高校 (14) 本吉響高校 (15) 第二工業高校
- 3 生徒の活躍（活動の成果報告等）
 - (1) 柴田高校 (2) 古川黎明高校 (3) 佐沼高校 (4) 石巻商業高校
- 4 入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）
 - (1) 仙台東高校 (2) 宮城広瀬高校 (3) 利府高校

1 マナーアップの取組紹介

(1) 仙台第三高校

〈三高マナーアップ運動〉

本校では全体の7割近くの生徒が自転車を登下校で使用しています。そのため、安全な登下校のために生徒一人一人のマナー意識が大変重要です。そのような本校のマナーアップ運動の中核を担っているのが交通安全委員会と生徒会であり、警察・PTA・教職員と協力して日々活動しています。

今年度は例年通り4月の交通安全街頭指導から始まり、仙台東警察署・ボランティアの方々と自転車安全利用の声かけ、マナー啓発リーフレットやグッズの配布を行いました。5月には3日間、学校周辺のヒヤリハット地点等で朝の挨拶運動を行い、実施した生徒からの意見等も踏まえて、8月と11月にも同様の活動をさらにブラッシュアップして行っていく予定です。この活動は地域の交通安全協会の方の御協力のもと合同で実施することもあり、地域の方々と交流することもできるため、とても大切な活動であることをしっかりと心にとめて今後も行っていきます。

校外の活動としては、同委員会の代表者達が「みやぎ高校生サイクルサミット」への参加を行っています。昨年のサイクルサミットでは県内の高校生と、交通安全の啓発に向けたアイデアを出し合うことで、高校生の自転車利用マナーがよりよいものになるように情報交換や意見交換を行いました。

また、昨年度から自転車通学が申請制となり、さらなる安全・安心な登下校のために交通安全委員会の生徒が主体となって、1年生は「ヘルメット着用～命を守るために御協力お願いします～」、2年生は「皆守れ、誇りとマナー、三高生」をテーマにそれぞれポスターを作成し、同委員会の3年生がそれらのポスターを掲げて独自に登校時の挨拶運動を行いました。仙台三高では自転車通学の条件の一つにヘルメットの着用義務があります。本年は特にそれが努力義務ではなく義務であるという点の周知に力を入れて活動を行ってきました。今後も定期的な活動だけではなく、臨機応変に三高マナーアップのために取り組んでいきたいと思えます。



交通安全委員会の挨拶運動の様子

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sensan.myswan.ed.jp/>

2 特色ある学校行事等の紹介

(1) 白石工業高校

〈技を磨き、コンテストや競技会へ挑戦！〉

私たちは日々「ものづくり」の力を高め、地域に根ざし、地域に貢献できる学校づくりに努めています。

授業で培った技術をさらに磨き上げ、社会で通用する本物の「技」へと高めています。生徒たちは、各種コンテストや競技会に積極的にチャレンジし、これまでに培った力を発揮するとともに、高い目標に向かって努力を重ねることの意義や達成感を実感しています。



【高校生ものづくりコンテスト】への挑戦 化学分析部門 県大会 優勝 第2位東北大会出場

〈ものづくりを通して地域と繋がる！〉

本校では、ものづくりの学びを地域との交流へと広げ、さまざまな活動に取り組んでいます。地域で行われる体験イベントへの参加や、手作りの木製おもちゃを保育園・幼稚園の子どもたちへプレゼントするなど、温かいつながりを大切にしてきました。

また、地域の小学校・中学校・支援学校と連携した「志教育」にも積極的に取り組んでいます。プランターの製作や紙すき・紙染め体験などを通して、ものづくりの楽しさを共有するとともに、自分の在り方を見つめ直す機会となっています。こうした交流は、人との関わり方や思いやりの心を育む、貴重な学びにもつながっています。

今年度も多くの地域イベントに参加を予定しており、これからも地域とともに学び合う機会を大切にしていきます。



こけしコンクールものづくり体験イベント

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://shiroishi-kougyou.myswan.ed.jp/>

(2) 大河原産業高校

〈D-Sports (体育祭) 開催!〉

6月26日(木)と27日(金)に、D-Sports (体育祭)が開催されました。本校では大産(だいさん)の頭文字「D」をとって、D-Sportsと呼んでおり、令和5年度に開校してから、初めての3学年揃ったD-Sportsが開催され、とても盛り上がりました。

競技はバスケットボール、障害物競走、バレーボール、卓球、綱取り、リレー、e-sportsで、各クラスが優勝を目指して取り組みました。3年生はやはり力が強く上位に食い込みましたが、e-sportsのマリオカートとスマッシュブラザーズはどちらも1年生のクラスが優勝しました。

競技中は、この日のために各クラスが作成したTシャツを着て、どのクラスも熱が入った応援を行っていたのが印象的でした。クラスの団結力も高められた、熱いイベントとなりました。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://daisan.myswan.ed.jp/>

(3) 角田高校

〈伝統の角白定期戦〉

5月、白石高校との伝統の一戦が実施され、野球の全校応援を行いました。白熱の試合を6-4で制したのは我らが角田高校! 試合終了後は角高生がグラウンドになだれ込み、声高らかに「凱歌」を歌って盛り上がりました。



〈アメリカ短期研修 ~姉妹校ドーバー高校との交流〉

3月、7名の生徒がアメリカ短期研修に参加しました。はじめは遠慮がちに振る舞っていた生徒たちですが、2週間のホームステイ、授業への参加、プレゼンテーション等を通して、人間的に大きく成長して帰ってきました。



〈学校のホームページはこちらです〉

https://kakuko.myswan.ed.jp

(4) 名取高校

〈進路指導部 様々な取組〉

令和7年3月の卒業生は、76名が四年制大学、19名が短期大学、104名が専門・各種学校等に進学し、5名が公務員、41名が民間企業に就職しました。就職者が減少傾向にありますが、進学先、就職先が多岐にわたるのが本校の特徴です。このような多様な進路希望を実現させるために様々な取組を行っています。

1年生から「大学進学希望者集会」や「就職希望者集会」を開催し、進路意識の醸成を図っています。進学関係では、生徒向けガイダンス、保護者向けガイダンスの他に専門分野に特化した看護医療系ガイダンスなどを開催しています。就職関係では、岩沼市等と連携した地元企業説明会（1年生）やインターンシップ（2年生）、岩沼ロータリークラブ様による模擬面接会（3年生）などを実施しています。生徒が上級学校や企業の情報をよく知り、納得して進路を選択できるように学校として手厚い指導を行っています。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

(5) 泉高校

〈2024年度 オーストラリア海外研修〉

令和7年3月8日（土）～18日（火）に本校1年生希望者がオーストラリアクイーンズランド州ブリスベンに海外研修に行ってきました。出発数日前から50年に一度という非常に大きなサイクロンがブリスベン周辺に留まっており、無事到着できるか心配されましたが、参加生徒皆の願いが届き、無事に到着できました。

サイクロンによる停電などで、通学することになっていたパークランドクリスチャンカレッジに最初の2日間は通学できず、

ホストファミリー宅に1日滞在、別の学校に1日通学するという予定変更もありましたが、3日目以降はほぼ予定通り進めることができました。現地大学見学やオーストラリアにしかない動物なども見学することができ、パークランドクリスチャンカレッジのバディ（相棒）と一緒に授業を受けることもできました。

最初は何の生徒も緊張しながらホストファミリー、バディと接していましたが、徐々に打ち解け、最後は別れがたいと感じるほど、良い関係を築くことができました。英語だけでなく、オーストラリアの文化や国民性、多様性も学ぶことができた有意義な研修となりました。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://izumihigh.myswan.ed.jp/>

(6) 松島高校

〈Majestic Japan〉

茶道部では、茶道の先生を毎週招いて、本格的な稽古をつけていただいています。また観光科には「Global Good」という外国人観光客をガイドする上で、必要な英語の表現やコミュニケーションの方法を習得するための授業もあります。両者が協力して実践する場面として、外国人観光客に松島の観光名所の紹介や茶道を解説しながら体験してもらう、「Majestic Japan」という活動を行っています。年間に20回程度行っており、6月に行った活動の中では、生徒たちが浴衣を着て日本の伝統を少しでも感じていただこうと準備をしました。日本の伝統や、おもてなしの精神を広く伝えるために生徒が頑張っています。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://matsushima-h.myswan.ed.jp/>

(7) 古川高校

〈オープンスクール・学校説明会〉

今年度の古川高校オープンスクールが7月28日（月）に開催されました。本校のオープンスクールの特徴は、オープンスクールスタッフを中心とした生徒主体の運営にあります。全体会では、学校生活や入試についての説明に加え、生徒会長による学校行事の魅力を含めた学校紹介と、母校愛あふれるOB・OGからの熱いメッセージが込められた古高生の3年間の紹介をしました。その後の懇談会では、現役生から古高生の一日が紹介され、受験勉強の仕方を学んだり、アットホームな雰囲気



で入学後の話や質問ができたりと、とても楽しい企画となっております。例年参加した中学生のみさんから好評いただいている企画です。最後は部活動見学を行い、午前中だけではありますが、文武両道を柱とする古高の魅力を感じ取ることができる一日となったと思います。昨年度から夏場の高温対策として、空調設備のある各教室で実施しています。多くの皆様の御来校を誠にありがとうございました。

また、11月8日（土）には中学生対象の学校説明会が予定されています。中学1・2年生が対象ですが、今回のオープンスクールに参加できなかった中学3年生も参加可能（中学3年生の保護者も参加できます）となっていますので、こちらの機会も御活用ください。また、小学5・6年生対象の学校説明会は、古高祭一般公開日の7月19日（土）、11時30分からと13時30分からの2回実施致しました。古高祭を楽しみつつ、古高の魅力を感じ取っていただけたならば幸いです。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

(8) 南郷高校

〈全校田植え・緑化活動〉

今年度も、全校生徒・教職員・PTA・同窓会が一丸となり、手植えによる「全校田植え」を実施しました。当日は天候にも恵まれ、盛大に実施することができました。年に一度、素足で田んぼに入る感触を味わいながら、汗水たらしく活動することができました。

また、全校生徒により、樹木の刈り込み体験を行う「緑化活動」も実施しました。この行事も今年で2年目でしたが、初めて刈り込



みハサミを手にする生徒が多く苦戦しながらも、造園士になった気分で、最後には手際良く行うことができました。次年度もぜひ体験したいと話していました。

本校は全校生徒が32名ですが、小規模校だからこそできるイベントがあります。産業技術科はもちろん、普通科の生徒、教職員も農業を通して、植物を愛する心を育てています。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://nango-h.myswan.ed.jp/>

(9) 登米総合産業高校

〈地域と連携！「産業基礎」で未来を拓く学び〉

専門学科の学びをさらに深め、地域産業への理解を広げるため、本校では学校設定科目「産業基礎」を導入しています。この授業では、地域社会で活躍されている方々から直接お話を伺う機会を、全5回設けています。

初回となる7月2日（水）は、登米市産業経済部の阿部様に御登壇いただき、「登米市の産業の今と未来」について御講演いただきました。生徒たちは、登米市の基幹産業である農業や林業はもちろん、商業、工業、観光など多岐にわたる分野の現状や課題、さらには具体的な改善策や先進的な取組事例まで、多角的に学ぶことができました。生徒たちは熱心にメモを取り、学んだことを自身のレポートにまとめていました。

本校の教育の特色や学校の雰囲気を知っていただけるよう、学校紹介動画や様々な教育活動の様子をホームページに掲載しております。ぜひ一度アクセスしてみてください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://tomesou.myswan.ed.jp/>

(10) 築館高校

〈人のためプロジェクトの御紹介〉

築館高校では、「人のためプロジェクト」と称する取組があります。この活動は、地域のイベントやお祭りなどへの参加、運営補助を行うボランティアプロジェクト、先輩方が作成した震災復興応援歌を歌い継ぐ応援歌プロジェクト、3年間で何か「人のため」になる活動に取り組むアクティブライフプロジェクトの3分野から成り立っています。これまで、芝桜の栽培にはじまり、リサイクル品の回収、介護施設での復興応援歌披露、災害復興支援の募金活動など、様々な活動を行ってきました。



特に、ボランティア活動は多くの市民の方々に認知されている「築高の顔」とも言える取組です。地域の方々から学校にボランティア派遣要請が届き、参加を希望する生徒が現地に赴いて地域の方々と活動を共にします。各小学校で行われる夏季休業中の勉強会を補助するサマースクール学習支援、地域行事の運営補助、被災した地域での清掃活動など、年間30件に及び要請に対応し、参加生徒数は述べ700名を越える年もありました。特に豪雨災害に見舞われた地域でのボランティアに関しては、ロータリークラブの方々とともに活動させていただきました。ただひたすらに清掃活動に取り組む本校生徒の姿は被災地の方々の心を動かすものだったと聞いております。

昨年度は延べ460名を超える生徒がボランティア活動に参加しました。地域の方々との交流を通じ、言葉では表せないたいへん多くの事を体験から学んで帰ってきます。「人のために何かをする」ということ自体が私たちの喜びであり、成長の糧となるだけでなく、自分も「人や地域のために何かできる」という大きな自信すら与えてくれます。「Think globally, Act locally.」を胸に、これからも築館高校は地域貢献に邁進していきます。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://tukiko.myswan.ed.jp>

(11) 一迫商業高校／築館高校 一迫商業キャンパス

〈地域と連携した取組『栗原版デュアルシステム』〉

平成17年度から文部科学省の指定を受け、学校の勉強と企業への企業実習・起業家研究・販売実習を通して専門的な知識と技能を習得するデュアルシステムを導入しております。「デュアル」とは2つという意味です。学校教育と企業での職業訓練を同時に進める取組で「長期間の実習」を授業に取り入れています。

栗原版デュアルシステムの3つの取組

〈企業実習〉

5月～12月までの長期（R7年度は31回）にわたり平日の午後に実習を行います。地域産業と連携し、職業についての知識や技能を身に付け、将来の地域産業の担い手となる優秀な人材の育成を目指しています。職業人として必要とされる創造性や積極性・協調性など学校では学べないことを実習で学んでいきます。そのまま就職することもあり、自分自身の進路選択にも大いに役に立っています。



〈起業家研究〉

この地域の魅力を生かしながら、自分が起業するならどうすればいいのかを考えながら、今年度はふるさと納税返礼品に適する商品開発に取り組みます。今年度は本校が地元の企業と共同開発したロングセラー商品「米ていら」を更に改良し、栗原市の姉妹都市台湾投南市のチョコを加えた新たな商品の開発に向けて話し合いを進めています。課題解決能力を高めながら起業家の理念や経営方針を理解し新たな視点で提案しています。



〈販売実習〉

自ら交渉して商品を仕入れ・販売・広告作成・会計処理の全てを実践します。地元施設の店舗前を借り受け、「一商チャレンジショップきてけさいん」を開店。商業高校ならではの取組でもあり、地域の皆様から大好評です。今年度は、2月に大規模な山林火災に見舞われた大船渡市の商品を仕入れ販売することで応援することとしています。お客さんとの対面での販売活動をとおして、被災の様子や応援を訴えながら積極的に実施します。



〈一迫商業高校のホームページはこちらです〉

<https://ichisho.myswan.ed.jp/>

〈築館高校一迫商業キャンパスのホームページはこちらです〉

<https://ichisho-ca.myswan.ed.jp/>

(12) 岩ヶ崎高校

〈岩高祭 「魁(さきがけ)！地域と一緒に盛りアガっていこうぜ☆」〉

岩ヶ崎高校では、8月31日(日)に岩高祭を一般公開いたします。地域の方々にも展示・発表をしていただき、地域交流を大切にしたい行事になっています。

文化部と各学年の展示発表(参加型アトラクション)や模擬店、吹奏楽部と軽音楽部のステージ演奏など、本校生が心を込めておもてなしをいたします。さらには、OBによるバンド演奏、読書の魅力を全国に発信するヒーロー“輝望戦士ダクシオンの部屋(内容は来てのお楽しみ)”や、地域の商店“ねこの森雑貨店”さんによるかわいらしい手作りの雑貨の出張販売もあります。また、ラーメンとおにぎりのキッチンカーもやって来ます。

まさに、地域とコラボしたお祭りです。岩高生と、OB並びに岩ヶ崎の地域の方々の、明るい笑顔と活気あるパワーに出会えるはずです。ぜひ御来場くださいませ。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://iwagasakikou.myswan.ed.jp/>

(13) 迫桜高校

〈部活動・生徒会活動〉

運動部は、各部がインターハイ出場を目指し活発に練習に励んでいます。今年度は、女子柔道部が県高校総体で第2位で、東北大会出場を果たしました。その他の部でも、数多くの生徒が県高校総体出場を果たし、大健闘いたしました。

文化部では、宮城県高等学校文化連盟栗原・登米支部総合文化祭に出場し、優秀賞など数多くの賞を受賞いたしました。毎年沢山の方々に御来場いただいております。

生徒会執行部では、『生徒が主体となって生徒会活動を盛り上げる』をモットーに、皆で協力し計画を立て実施しています。7月中旬には熱中症に注意しながら「スポーツ大会」を実施することができました。生徒と教員が一丸となり企画を盛り上げ、皆が全力で取り組むことで、とても熱い時間を過ごすことができました。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(14) 本吉響高校

〈“自然”を見る目が変わる！響高校の「自然観察」〉

本校には、「自然観察」という学校オリジナル科目があります。美しい桜が並ぶ「桜が丘」と呼ばれる場所に校舎があり、その周辺には水田や津谷川など多様な環境があります。これらの豊かな自然を活用し、草花や樹木、水生生物、トンボ、野鳥など多様な生物を扱いながら授業を行います。観察の際は、スケッチをしたり、草木を解剖したりしながら細部まで生物の構造を把握します。また、採集した生物の種類によって、環境の豊かさを評価することもできます。



受講して1年後には、今まで「雑草」「木」「トンボ」としか見えなかった生物を見分けることができるようになり、名前がわかるようになります。加えて、生物の生息する環境の状態がわかると、その環境の守り方も考えることができるようになります。

地球は、ヒトだけのものではなく、様々な生物の場所です。どうすれば生物は共存できるのか、自然観察の授業を通して考えてみませんか？

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://hibiki-h.myswan.ed.jp/>

(15) 第二工業高校

〈ひとつの家族 宮二工〉

修業年限4年の県内唯一の独立夜間定時制工業高校として、現在は、電子機械科と電気科が設置されています。「明朗闊達・勤労愛好」を校訓に、日々進展する科学技術に即応できる工業人、教養豊かで行動力のある職業人の育成を目指し、最新の施設・設備を活用した、少人数できめの細かい指導を展開しています。

本校の1日は、午後5時からの『給食』でスタートします。日替わりで提供されるメニューは、栄養バランスが抜群で、生徒・教職員からおいしいと評判です。生徒は、食堂で栄養と元気を十分にチャージしてから教室に向かいます。

授業は午後5時50分から午後8時45分までです。生徒1人ひとりの理解度や進度を丁寧に把握し、それぞれの個性を大事にしながら授業や実習を行っています。また、これまでの「新入生歓迎会」、「校内生活体験発表」、「修学旅行」などの行事に加え、今年度から生徒の発案による「校外ホームルーム」や「文化的な特別活動」などの新たな行事が新設されました。

このようなアットホームな雰囲気であることから、生徒たちにとっては「ひとつの家族」のような心地よい居場所になっているようです。落ち着いた環境のもと、自分に合ったペースでじっくりと高校生活を送りたいと思う中学生の皆さんは、ぜひ、学校説明会に来てみてください！



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://m2k.myswan.ed.jp>



3 生徒の活躍（活動の成果報告等）

（1）柴田高校

〈柴高生 部活動で躍動！〉

◎県総体・東北大会で多数入賞

本校は、体育科を設置する学校として部活動にも力を入れています。県内の大会のみならず、東北大会やインターハイ、国民スポーツ大会での入賞など、全国レベルの大会で好成績を収めています。今年度の大会でも、選手一人一人が日々の成果を遺憾なく発揮しました。

県総体や東北大会では陸上競技部やウエイトリフティング部、柔道部など、複数の部活動で上位入賞を果たし、インターハイへの出場を決めています。なかでも陸上競技部は開校4年目以降37年連続でのインターハイ出場となります。また、ウエイトリフティング部は、東北高校選手権大会で学校対抗において男子が優勝、女子が準優勝に輝くなど、その力強さを見せつけました。これからの大会へ向けて練習にもますます熱が入ります。柴田高校の熱い夏はまだまだ始まったばかりです。今後も柴田高校生徒の活躍に注目してください。

部活動の様子や大会結果は随時ホームページにて更新します。どうぞご覧ください。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://sibata.myswan.ed.jp>

（2）古川黎明高校

〈SSH 探究活動で商品開発を通して地元貢献〉

本校がスーパーサイエンスハイスクール（SSH）として取り組んでいる探究活動では、ある班が商品開発を行い、2025年の冬に販売を実現しました。大崎市のブランド野菜である「古川なす」の規格外品が年に40トンほど廃棄されることに着目し、古川なすの特徴である薄い皮と甘さを活かしてパウンドケーキ「ナスンドケーキ」を考案しました。フードロスの減少はもちろん、農家の収入増と地域のPRも目指して、市内の菓子店と協力して出来上がったナスンドケーキが2025年2月に販売開始となりました。

この研究がきっかけとなって、今年3月に開校した「おおさき日本語学校」の生徒と地域住民との交流会が開催さ

れ、ナスンドケーキを食べながらお互いの国の飲み物を紹介したり、ゲームをしたり、学校での研究内容を紹介したりしました。また、5月に東北大学に招待され、留学生の日本語授業で研究発表およびナスンドケーキの試食をしました。地方農業やお互いの食文化について、留学生と情報交換を行う貴重な機会となりました。



ナスンドケーキ



規定を満たさなかった古川なす

- ・大きくカットされている
- ・食べ応えがある
- ・後味さっぱり
- ・数回に渡る改良

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://freimei-h.myswan.ed.jp>

(3) 佐沼高校

〈「佐高生の活躍～活動の成果報告～」〉

昨年度の国公立大合格者は37名で、東北大1名、宮城教育大5名、宮城大に4名が合格しました。私立大学には、延べ253名が合格し、地元の東北学院大をはじめ首都圏の難関大へも多くの生徒が進学しています。公務員試験に延べ27名、看護医療系専門学校へも9名が合格するなど、数多くの生徒が幅広い分野で進路達成を果たしました。

部活動も盛んであり、今年度はボート部男女ダブルスカルが県総体、東北大会を制してインターハイに、美術部1名が全国高等学校総合文化祭にそれぞれ出場します。また、ラグビー部が県総体準優勝を果たし、東北大会Ⅱ部準優勝という成績を収めました。剣道部、バドミントン部男子団体も県総体ベスト8入りを果たしました。

7月19日(土)には佐高祭を開催しました。例年同様、文化部のステージ発表に加え、個性あふれる模擬店や地元商店会とのコラボ企画で毎年大いに盛り上がりました。たくさんの御来場、誠にありがとうございました。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sanuma.myswan.ed.jp/>

(4) 石巻商業高校

〈石商マーケット、開催します〉

「石商マーケット」とは、石巻商業高等学校が設立している模擬株式会社のことであり、3年生全員が株主になっています。活動内容は、株主総会に始まり、商品の選定や仕入れ、販売計画、利益処分などを生徒自身で行っています。取扱商品は、本校が開発した商品のほか、全国の専門高校の生徒が開発した商品や加工品などです。

出店の形態は対面販売であり、10月3日(金)道の駅上品の郷、11月28日(金)イオンモール石巻で予定されています。販売時間は10時00分～15時00分となっています。

今年度も多くのお客様の御来店をお待ちしております。ぜひ、お立ち寄りください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sekisyo.myswan.ed.jp>

4 入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）

（1）仙台東高校

〈令和7年度学校説明会について〉

例年1000人規模の中学生、保護者の方々に参加いただく学校説明会を、今年7月29日（火）に開催いたしました。猛暑に備え、今年会場を本校から「太白区文化センター楽楽ホール」に移しての実施となりました。

今年度の内容としては、学校概要及び入試に関する説明、在校生による学校紹介、英語科や国際教育などの本校の特色ある教育活動の説明等を行いました。また、6月30日までの参加申込時にいただいた多数の御質問も取り上げさせていただきました。

参加いただいた中学生、保護者の方々に本校のキャッチコピーである「Enjoy East!」の校風を感じていただけたら幸いです。多くの皆様の御参加、誠にありがとうございました。



昨年度の学校説明会の様子

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://higasi-h.myswan.ed.jp/>

（2）宮城広瀬高校

〈花火師も感嘆する打ち上げ花火〉

本校は、仙山線の陸前落合駅の北西に位置し、さらに北側には広瀬川が流れているため、校地内の上空では心地よい風が吹いていることが多いです。

今年の本校の文化祭（広高祭）は、8月29日（金）に校内発表、30日（土）に一般公開を行います。近年、一般公開の前日に前夜祭企画の一つとして、花火師さんをお願いして校庭から花火を打ち上げています。

花火師さんたちが精魂込めた花火そのものが素晴らしいのはもちろんのことですが、本校の立地条件がその花火の美しさをより際立たせています。1つの花火が打ち上がった後、花火の煙を風が適度に流し去り、毎回鮮やかな花火が夜空のキャンバスに描き出されます。その花火の鮮明さは、花火師さんたちが、花火師冥利に尽きると感嘆するくらいです。

世の中には様々な花火が溢れていますが、あなたの青春の1ページに本校の花火を母校の思い出として焼き付けてみませんか。

本校の詳細を知りたい場合はHPを御覧ください。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://hirose-h.myswan.ed.jp/>

(3) 利府高校

〈♥利府高祭についてのお知らせです♥〉

今年度も、8月29日（金）・30日（土）の2日間にわたって、利府高祭を開催いたします。29日（金）は、校内発表としてクラス企画や各種文化部の発表などを行います。そして、30日（土）は、一般公開を行うことに決定しました！

利府高校の文化祭には、例年、地域の方々に御来校いただいております。本校生が企画した催し物や展示、ステージ発表や模擬店など、趣向を凝らした内容を楽しんでいらっしゃいます。

今年度も、本校文化部や有志団体による展示発表や催しなど、楽しい企画をたくさん行う予定で準備を進めております。皆さんの御来校を心よりお待ちしております！

*詳しくは本校ホームページを御覧ください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://rifu-h.myswan.ed.jp/>